

あなたが守る！救急医療 in 南那須

地域医療フォーラム

△「あなたが守る! 救急医療 in 南那須(栃木県、那須烏山市、南那須医師会主催)」が烏山公民館で開かれ、地域住民約160人が地域の医療について考えました。

同フォーラムは、地域の救急医療の現状及び課題について、地域の一人ひとりが考え、行動することで住民、医療機関、行政等の協働による地域医療確保対策につなげるために県内各地で開かれているものです。

当日は、岩手県千厩病院の吉田徹院長が「岩手県千厩病院の現状～住民が支える地域医療～」と題した基調講演を行い、地



吉田院長による講演。



南那須地域の救急医療を考えたパネルディスカッション。

支え、健康で楽しく暮らせるまち
づくりが必要」と訴えかけました。
続く、パネルディスカッショ
ンでは、熊田診療所の有我直宏
所長をコーディネーターに、初
期救急代表として近藤クリニツ
クの近藤克昭院長、一次救急代
表として那須南病院の関口忠司
院長、三次救急代表として那須
赤十字病院救命救急センターの
長谷川伸之センター長、地域住

域の人々が地域の医療を守つて
いくための取り組みや、病院が
地域の人々に医療に興味を持つ
てもらうための事例などを紹介
しました。吉田院長は、「高齢化は
進んでも官民一体となり医療を

学生・生徒による研究成果を発表 研究発表会 ジオサイト

学生・生徒による研究成果を発表 研究発表会 ジオサイト

市では、12月20日(土)、烏山公民館で「ジオパーク研究発表会」を開き、市内外から約60人が訪れ、発表に

からも、地層などの他、歴史・動植物など本市に貴重な資源が多く残されていることがわかり、ジオパー

発表では、栃木県立博物館の柏村勇二さんが「ジオパーク」について、本市が中新世と呼ばれる時代の地層が連続して見られる非常に希少な地域であることを解説。続いて、下江川中学校特設科学部の生徒と宇都宮大学教育学部の3年生がこれまで研究してきた成果を発表しました。各団体の研究成果を

なお、下江川中の生徒は、「シモツケコウホネ」に関して県立博物館で発表したり、2011年に開かれた日本地質学会水戸大会で奨励賞を受賞したりするなど多くの実績を残しています。宇都宮大学の学生は市ジオパーク構想にも協力し、市内でジオサイトバスツアーを企画するなど、市と連携し活躍しています。

下江川中学校特設科学部による発表。



期間限定「和かふえ」オープン



11月7日(金)・8日(土)の2日間限定で、熊田の船栄庵を活用した「和かふえ」がオープンしました。

同かふえは、司法書士の嶋田貴子さんが、熊田地区で出張無料相談会を行った際に同時に開いた催しで、地域での交流の場と空き家の新たな活用を試みて企画されたものです。

2日間で48人が訪れ、古民家の落ち着いた雰囲気のなかで堪能する挽きたてのコーヒーやごほう茶がとても好評でした。

落ち着いた雰囲気の「和かふえ」。

長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡国史跡指定5周年記念講演会

長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡国史跡指定5周年記念講演会



「矢沢のやな」での撮影風景。

直木賞作家の葉室鱗さんの第14回松本清張賞受賞作品「銀漢の賦」をドラマ化したNHK木曜時代劇「風の峠～銀漢の賦～」の撮影が、10月23日(木)・24日(金)、「矢沢のやな」で行われました。

放送は、1月15日(木)から毎週木曜日の午後8時から8時43分。今回市内で撮影した場面は、2月5日(木)、第4話で放映されます。

NHK木曜時代劇「風の峠／銀漢の賦」
市内で撮影されました！

好評を博した講演会「古代の道路と駅家」。



この講演会は、奈良・平安時代の役所跡と道路跡とわかつた鴻野山地区にある長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡が平成21年2月に国史跡指定となつてから5周年を迎えることを記念し、古代道路の発掘調査した。

タレ理事長で、前国立奈良文化財研究所長の田辺征夫さんが「平城京解説の道のり」、文化庁の近江俊

の最新情報とその役割や古代の役所跡である長者ヶ平官衙遺跡が東山道沿いに造られた目的とは何かを探るために開かれたものです。

秀調査官が「発掘された古代道路
木本市教育委員会の小宮俊久さん
が「上野国の東山道駅路の調査」
本市文化振興課文化財担当の木下
実さんが「下野国の東山道駅路の
調査」、那須烏山市の調査例を中心
として、「長崎外国语大学教授の
木本雅康さんが「古代の駅家」と題

りました。参加者の中には、メモをとる人や講演をした先生の著書を持参し、古代の東山道跡の話をさらに詳しく述べたりたいという熱心な人もいました。また、東京都や埼玉県など遠方から来た人も多く、好評のうちに幕を閉じました。

那須烏山市教育委員会会報

26年度『第3四半期』10月～12月

■第11回教育委員会(10月28日(火))

- 区域外就学の許可を承認

○要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認

○平成26年度小・中学校職員定期異動方針(案)を決定

●第12回教育委員会(11月20日㈭)

○区域外就学の許可を承認

○全国学力・学習状況調査の取扱いを決定

●第13回教育委員会(12月1日㈪)

○要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認

○那須烏山市立学校設置条例等の一部改正を決定

○那須烏山市児童生徒就学援助規則の一部改正を決定

●第14回教育委員会(12月19日㈮)

○平成27年度使用小学校用及び中学校用並びに小中学校特別支援学級用教科用図書を採択

○区域外就学の許可を承認

●第12回教育委員会(11月20日㈭)

○就学指定校の変更を承認

●第13回教育委員会(12月1日㈪)

○平成26年度那須烏山市教育費予算の補正を決定

●第14回教育委員会(12月19日㈮)

○平成26年度那須烏山市教育委員会委員長の選挙

●委員長に滝口由美子氏が当選

▼12月7日㈰

那須烏山マラソン大会出席

▼11月5日㈬

県市町村教育委員会委員研修出席

▼10月28日㈯

荒川中学校訪問

サタデースクール開校式出席

▼10月4日㈯

荒川中学校文化祭出席

▼10月11日㈯

下江川中学校、烏山中学校文化祭、学校祭出席

▼10月25日㈯

サタデースクール開校式出席

防災の意識高める

各地域で防災訓練行う

市内各地の自治会で、那須烏山消防署と地域の消防団員が協力し、防災訓練が行われ、地域住民たちは避難や消火など様々な訓練を通して防災の意識を高めました。

11月16日(日)には、興野で約40人、11月23日(日)には、小倉で約90人と大桶下で約40人、12月7日(日)には、谷浅見下で約110人が参加しました。その様子を写真で紹介します。



鳥山線利用向上 「市民号」が運行

JR鳥山線の利用向上と市民同士の交流、行政区の活性化を図ろうと、今年度で7回目を迎える「那須烏山市民号」が運行されました。

11月16日(日)から18日(火)にかけて、「しまなみ海道・四万十川舟下り」と道後温泉3日間の旅に43人。11月20日(火)から22日(木)にかけては、「紅葉の琵琶湖湖東・嵐山観光」とおかげ年

参り伊勢神宮参拝3日間に27人が参加し、観光を楽しみました。

現地では、それぞれの観光名所を巡ったり、名物料理を食べたりと日常を忘れ、ゆっくりとした時間を過ごすことが出来たようです。

一行は、JR鳥山線に乗車し、利用向上に一役買いました。



車にはねられるスタントマン。

荒川中で自転車交通安全教室 スタンスマンが事故現場を再現

荒川中学校では、11月25日(火)、

「自転車交通安全教室」が行われ、同校の全校生徒が交通事故の危

険性を学びました。

この教室は、通学など日常生活で自転車の利用頻度が高い中

高生に、交通事故の危険性を理

解してもらうためにJA共済連絡本が栃木県警察本部と協力して開いているもので南那須地区で初めて行われました。

はじめに行われたのは、那須烏

山警察署の川永大輔交通課長に

よる交通講話。川永交通課長は、

「この地域は9割の生徒が自転車

通学。そのほかの生徒もほとんど

が自転車を保有しているため、事

故に気をつけて乗ってほしい」と

呼びかけました。その後、スタンスマンによる、危険な自転車走行をした場合の交通事故を再現し、ルールやマナー違反が大きな事故を招くことを伝えました。前方不注視や左右安全不確認などでスタンスマンが車や通行人と衝突する様子に生徒たちは衝撃を受けていました。

参加した同校2年の木下瑠来さんは、「普段見ることのない事故場面を見て、とても怖かった。これから自転車に乗るときは、今以上に気をつけたい」と話していました。



「しまなみ海道・四万十川舟下りと道後温泉3日間の旅」に参加したみなさん。

一つひとつに思いを込めて

100対の門松作り



丹精込めて作られる門松。

12月17日(水)、シルバー人材センターでは恒例の門松作りが最盛期を迎えました。今年は、7人の会員が11月20日(水)から竹や松の切り出し作業を開始。200本余りの竹を切り、門松約100対を作りました。

同センターの門松づくりは20年以上の実績があり、年々

注文数も増え、市内外で好評を得ています。また、毎年、市役所烏山・南那須庁舎等にも寄贈され、新春に華を添えています。

代表の高野英知さんは、「皆さんに喜んでもらえることが励みになります。一つひとつ丁寧に心を込めて作っています」と話していました。



親子仲良く肉まん作りに挑戦。

こども館「小学生チャレンジ教室」 本格的な肉まんづくりに挑戦

こども館では、那須烏山市婦人会会員の共催で、11月30日(日)に小

学生の親子を対象とした事業「チャレンジ教室」が開かれ、親子7組20人が本格的な肉まんづくりに挑戦しました。

肉まんづくりは、まず生地作り

に挑戦。分量によって、柔らかさの具合も変わってくるので親子で相談しながらわきあいあいとした和やかな雰囲気のなかで調理を進めました。

その後、蒸しあがった熱々の肉まんをみんなで頬張りました。自分たちで手作りした肉まんは「おいしい」とみんな満面の笑みがこぼれていきました。

シリーズ 市の文化財 第45回



市指定有形文化財
誕生仏
たんじょうぶつ

(南1丁目)

本像は、全長約15cm、右手を頭頂に置いた銅製の誕生仏です。全身がふっくらした可愛らしい表情の童子像で、頭部円頂、上半身裸形、下半身に袴を着用して右腰脇で紐をつけたお姿は、両手を合掌すれば聖徳太子二才の南無太子像になります。

像の特徴から、鎌倉時代頃に太子信仰の影響を受けて制作されたと考えられています。長い年月の間に左手先が失われ、火災に遭い表面が溶けるなどの損傷が見られますが、全体のバランスも良く優れた作りになっており、鎌倉期の仏像として貴重です。

烏山南公民館 繭玉で干支「ひつじ」作り



屋代さんに作り方を教わる参加者。

12月8日(月)、「繭玉で干支作り」を開き、14人が参加しました。当日は、那珂川町出身の屋代和代さんを講師に招き、今年の干支「ひつじ」を繭玉で手作り。参加者は、細かい作業にに戦闘しながらも、楽しげな様子で取り組んでいました。完成品は、それぞれ表情や形が違い、どれも味のある作品となりました。参加者には、繭でつくった「ひつじ」は温かみがありかわいいらしく大好評でした。

烏山南公民館(鈴木初男館長)では、12月8日(月)、「繭玉で干支作り」を開き、14人が参加しました。



高橋滋教授による標本を使った昆虫の生態解説。



竹の器で味わう秋の味覚を堪能。

ごはんや、地元産有機野菜の豚汁、漬物。参加者は、会員たちが手作りした竹の器で、自然の恵みに舌つづみを打っていました。

12月13日(土)、神長の平野重男さんが満100歳を迎えました。平野さんは現在、老人福祉施設で過ごしています。

「周りに感謝し、自然体でいる

祝100歳 平野重男さん・大森セツさん

12月は、市内で2人が満100歳を迎えました。雄市長からお祝いの言葉とともに、花束などが手渡されました。

12月30日(火)、大沢の大森セツさんが満100歳を迎えました。大森さんは現在、病院で療養していますが、体はとても元気で家族も、時にその力強さに驚か

田んぼの学校
「志鳥俱楽部」
収穫感謝祭
里山と田んぼの豊かな自然を通して、子どもたちに様々な体験や学びの機会を提供しようと、市内の有志が運営する田んぼの学校「志鳥俱楽部(滝口清栄会長)」が、12月6日(土)、志鳥上公民館で田んぼの学校[2014収穫感謝祭]を開きました。

当日は、市内外から約60人が参加。海外青年協力隊による貧困などに悩む世界の子どもたちを写真で紹介したほか、図書館出前講座の絵本読み聞かせ、市内在住の音楽家山田ぶんぶんさん

のコンサートが披露されました。また、田んぼの周りで撮影し

た貴重な写真展や、宇都宮大学の高橋滋教授による標本を使った珍しい昆虫の生態解説、ベー

ゴマなど昔の子ども遊びも行われました。そして、昼時を迎えると、いよいよ収穫感謝祭の始まりです。田んぼの学校で子どもたちが田植え体験した古代米の

「チャリティ一発表会」が寿乃湯で開かれ、114組が発表しました。会場には、出演者の応援に来た人々が、114組が発表しました。



ここなす姫と仲良くポーズ
(イルミネーション点灯式より)。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みんなからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当
☎0287-83-1112

恒例の年末チャリティショー 師走のまちに歌声響く

唄や舞踊などの愛好会である、烏山地区民俗文化奉仕協会(川俣伸会長)と那須烏山市歌謡協会(水野信一会長)がチャリティ一発表会を開きました。

また、両協会では、毎年、春と冬

に、高齢者も多く、参加者も増えているようです。

にチャリティイシヨーを開催し、その益金を社会福祉協議会に寄付する活動を行っています。今後、福祉の場で活用されることになります。



上:烏山地区民俗文化奉仕協会。
下:那須烏山市歌謡協会。

島崎利雄さん文化庁長官表彰を受賞

全国山・鉢・屋台保存連合会常任理事の島崎利雄さん（中央1丁目）が、栃木県で唯一、平成26年度文化庁長官表彰を受賞しました。



島崎さん。

果を示し、日本文化の振興に貢献した個人・団体に対してもその功績をたたえ、文化庁長官が表彰するもので、今年度は全国から個人35人と1団体が受賞しました。

会長として国指定重要無形民俗文化財「鳥山の山あげ行事」の保存及び継承に尽力されてきました受賞を受けて島崎さんは「2年後、山・鉢・屋台行事としてのユネスコ無形文化遺産への登録が迫っているので頑張りたい。また、山あげ行事については、人手不足などの問題を地域や行政と協力して、伝統を継承するとともに、地域活性化につなげた」と話していました。

法務大臣感謝状贈られる 人権擁護委員の福澤英子さん

人権擁護委員の福澤英子さん

人権擁護委員を務めている福澤英子さん（大金）に、法務大臣から感謝状が贈られました。

烏山人権擁護委員協議会で事務局長を務め、宇都宮法務局烏山支局が統合後は、宇都宮人権擁

福澤さんは現在まで、11年間委員を務め、人権の擁護と思想の普及高揚に尽力。これまで、旧

護委員協議会や栃木県人権擁護委員連合会で総務委員として活躍しています。



福澤さん。

「古布ギヤウリ一ながたや」がオープン

田野倉の永田敏美さんが、11月13日(木)から、下境の空き家を利用

して「古布ぎやらりーながたや」をオープンしました。

り見たい」と要望が届き、ギヤラリーを開くこととなりました。

子どもの頃から服や人形を作るのが趣味だったという永田さん。20年前からは、古布の魅力に気付き、着なくなつた着物や服を利用して、人形や動物などを制作してき

ギャラリーは、夫の雅明さんの実家を古民家風に改修。内装もおしゃれにレイアウトが施され、時間が経つのも忘れてしまうほど落ち着いた空間が広がっています。



短歌が趣味の平野さん



読書が好きな大森さん。

「こと」が長生きの秘訣と話す平野さん。市長の「これからも元気で長生きしてください」という祝辞に「ありがとうございます」と答え、元気な笑顔を見せていました。

されることがあるようです。また本を読んだり、人と話したりするのが大好きな大森さん。市長が訪問した24日(水)も楽しく話をし、満面の笑みを見せていました。

おわびと訂正

・10月号19ページの「市の人口」の記事で、「人口27,468(-13)」とあるのは「人口27,444(-24)」、「世帯数9,616」とあるのは「世帯数9,624」の誤りです。おわびし訂正します。

・11月号17ページ「市の人口」の記事で、「人口27,421」とあるのは「人口27,397」、「男13,526」とあるのは「男13,508」、「女13,895」とあるのは「女13,889」、「転入44」とあるのは「転入47」、「世帯数9,609」とあるのは「世帯数9,614」の誤りです。おわびし訂正します。

・12月号21ページの「ご寄付ありがとうございます」の記事で、「秋元久様」とあるのは「秋山久様」の誤りです。おわびし訂正します。

市的人口 2014.12.1現在
()対前月比
人口 27,379(-14)
男 13,491 女 13,888
出生 11 死亡 39
転入 56 転出 42
世帯数 9,619

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

編集後記

○明けましておめでとうございます！
2014年は、JR烏山線に「ACCUM」の運行や史上初の「春の山あげ祭」、「烏山の山あげ行事」のユネスコ無形文化遺産の申請、ねんりんピックの開催など色々ありました。

○それにしても1年間あっとゆう間。
同じ広報担当の上司とも「1年経つのが早かったね」、「去年も同じこと言ってましたよね」なんて話題でもちきりでした。(来年も言いそうですが…)

○「あっという間」といえば、12月に誕生日を迎えた！当日は家族や友人、職場の上司から「おめでとう」と声を掛けてもらったり、プレゼントをもらったりと「至れり尽くせり」。「毎日が誕生日だったらしいのに～」とメルヘンなことを考える一方で、ついに歳をとるのが嬉しくない歳に…。本当に1年経つのが早いです。

○でも、いくら歳をとっても無理に背伸びせず“自分らしく”いることは大切！そんなことを胸に2015年を過ごしてみようと思います！

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★

<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

『ビッグデータの罠』 岡嶋 裕史
『お金はサルを進化させたか』野口 真人
『脳を育てる親の話し方』加藤 俊徳
『バターなしでおいしいパイとタルト』

吉川 文子
『注文の多い美術館』 門井 慶喜
『中尉』 古処 誠二
『GOSICK』 桜庭 一樹
『誤断』 堂場 瞬一
『てのひら猫語り』 あさの あつこ

●児童図書●

『新聞は、あなたと世界をつなぐ窓』 木村 葉子
『あたる！！おもしろ妖怪うらない』 章月 綾乃
『地雷をふんだゾウ』 藤原 幸一
『ネイマール』 マイケル・パート

『ママ、あのね』 福田 幸広
『まばたき』 穂村 弘
『にげにげにゃんこ』 ひがし くんぺい
『このパンなにパン?』 ふじもと のりこ

●CD●

『THE DIGITALIAN』 ARASHI
『MUSIC LIFE』 GLAY
『DEARS』 中島 美嘉
『with LOVE』 西野 カナ
『好きです！心の演歌・歌謡曲』 三山 ひろし他

『問題集』 中島 みゆき
『ボーカロイド超ベスト MEMORIESES』 GUMI
『決定版！！「卒業ソング」ベスト』 オムニバス
『にはんごであそぼ 童謡』おおたか 静流

俳句

○何となく忙しくなる町師走
須田 孝子(城東)
○姫姫の墓への帰り走り蕎麦
伊東 澄子(中央)
○石巻の荒野母子像小六月
高徳 美井(大金)
○三島忌や迷彩服の老庭師
草分 勉(金井)

短歌

○冗談もでる順調な回復期
森 豊(中山)
○遠い日の麦踏み母と肩並べ
杉山幸崇子(八ヶ代)
○金寿すぎまだある夢を持ち続け
羽石 妙子(向田)

川柳

○篠崎 酔月選

作品募集
毎月10日までに、総合政策課広報統計担当
(〒321-0692那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

○農に生き農に逝きたる母の墓洗い酒
矢口 玄鳥(大金)
○年重ね八十余年生き来たる長き人生
田島 静子(中山)
○供え新年迎う
○に我がドラマあり
吉澤 紅月(南北)
○「武器より本を」世に訴えるマララさん
福沢 英子(大金)
○六年目の秋(萬吉翁・川俣英夫先生像)
端正に胸像二体並び立ち新校舎創立

短歌 福澤 悅子選
文艺

市内の幼稚園・保育園で発表会 歌や踊り、劇を披露

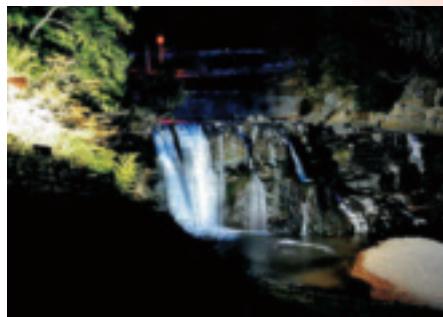
市内の幼稚園・保育園では、生活発表会が相次いで開かれ、大勢の保護者や地域住民が見守る中、この日のために練習をしてきた歌や踊り、劇を一生懸命に発表しました。

今回は、11月30日(日)に開かれた「みどりやん保育園・烏山みどり幼稚園」、12月4日(木)、9日(火)、11日(木)に開かれた「つくし幼稚園」、12月13日(土)に開かれた「すくすく保育園」の様子を写真で紹介します。



上から2つずつ、みどりやん保育園・烏山みどり幼稚園／つくし幼稚園／すくすく保育園。

龍門の滝がライトアップ！



12月20日(土)から1月4日(日)にかけて、午後5時から8時の間、龍門の滝がライトアップされました。

滝には、その美しい情景を一目見ようと連日多くの見物人が訪れました。なかには、夜の暗闇に浮かび上がる幻想的な滝を写真におさめようとカメラのシャッターを切る人もいました。

有料広告

お店の宣伝してますか？

少ない経費で大きな宣伝

地域密着
情報紙

アドワーカー

配布エリア／那須烏山市・那珂川町・高根沢町・市貝町・さくら市・大田原市・宇都宮市・鹿沼市・常陸大宮市

株式会社アド・ワークス アドワークス 烏山 検索
那須烏山市野上1162(寺澤太鼓店前)

掲載料金

0120-03-8633 1枠8,000円

鳥山保育園で人形劇 心温まる音楽を楽しむ

鳥山保育園では、12月16日(火)、「お楽しみ鑑賞会」で「人形劇団くぐつ」による人形劇が行われ、同園の2歳以上の園児95人が手作りの心温まる舞台を楽しみました。

これは、園児たちに映像などではなく、本物の生の舞台に触れてもらうことで、豊かな心を育みたいと保育園で毎年開いているものです。

園児たちは、生の演奏や劇団員と人形が織りなす多彩な人形芝居に引き込まれ、時には笑ったり、時にはびっくりしたりと約1時間の舞台公演を楽しみ、充実した時間を過ぎました。



人形劇に夢中の園児たち。